



NEDO NEP 開拓コース SVr (Super visor)

2026年1月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
スタートアップ支援部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番ミュージアム川崎セントラルタワー (総合受付16F)
E-mail : NEP@nedo.go.jp

【業界SVr】



出雲 充 氏
株式会社ユーグレナ
代表取締役社長



吉野 巖 氏
マイクロ波化学株式会社
代表取締役社長CEO

【支援SVr】



東 博暢 氏
株式会社日本総合研究所
プリンシパル



潮 尚之 氏
ITPC
代表



尾崎 典明 氏
S factory
代表



片田江 舞子 氏
Red Capital株式会社
代表取締役マネージングパートナー

出雲 充(いずも みつる) 株式会社ユーグレナ 代表取締役社長

略歴



- ・ 駒場東邦中・高等学校、東京大学農学部卒業後、2002年東京三菱銀行入行。
- ・ 2005年株式会社ユーグレナを創業。世界初の微細藻類ミドリムシ(学名:ユーグレナ)食用屋外大量培養に成功。
- ・ 第一回日本ベンチャー大賞「内閣総理大臣賞」、第五回ジャパンSDGsアワード「内閣総理大臣賞」受賞。
- ・ 著書に『僕はミドリムシで世界を救うことに決めた。』(小学館新書)、『サステナブルビジネス』(PHP研究所)。
- ・ 経団連スタートアップ委員長、経済同友会スタートアップ推進総合委員長、内閣官房知的財産戦略本部員、文部科学省アントレプレナーシップ推進大使、東京大学農学部運営諮問委員、東京大学創立150周年記念事業150人委員、開志専門職大学客員教授、世界経済フォーラム(ダボス会議)ヤンググローバルリーダー、ビル&メリンダ・ゲイツ財団SDGsゴールキーパー。

開拓コース応募者へのメッセージ

現在、IT、エネルギーなど世界の数多くの産業を欧米がけん引していますが、私には日本こそが世界をリードする分野があると確信しています。

それが、ディープテックです。

特に、大学はディープテックの基盤の宝庫で、日本中の大学に社会課題を解決するための技術が社会実装されずに眠っています。

人と地球を健康にするため、相棒のユーグレナと共にバイオテクノロジーで現代に蔓延る社会課題に立ち向かう者として、ディープテックで世界を変えたいし、そこに向かう仲間がもっと必要です。

この世にくだらないものなんてない。あなたが信じる技術シーズと熱意を私たちにぶつけてください。

吉野 巖(よしの いわお) マイクロ波化学株式会社 代表取締役社長CEO



プロフィール

- 三井物産(株)(化学品本部)、退職後、米国にてベンチャーやコンサルティングに従事。
- 2007年8月、マイクロ波化学(株)設立、代表取締役就任(現任)。
- 1990年慶応義塾大学法学部法律学科卒、2002年UCバークレー経営学修士(MBA)、技術経営(MOT)日立フェロー。

開拓コース応募者へのメッセージ

試したいことがあるならまずはやってみたらいい、やる人はどんな理由があっても実行する。失敗したとしても、その経験は必ずプラスになるはず。

地球温暖化、食糧問題、高齢化などの大きな社会課題の解決に、テクノロジーの力でチャレンジすることは楽しいし、レガシーの仕組みや常識にとらわれないスタートアップこそが大きな変革をもたらすことができる。

ビジネスモデルをつくり、価値を提供しお金を稼ぐことこそが、ものごとの実現やテクノロジーの普及につながる。是非、挑戦をしよう！

東 博暢(あずま ひろのぶ) 株式会社日本総合研究所 プリンシパル



プロフィール

- 2006年日本総合研究所入社。
- 2016年より、日本の成長戦略の基盤となる先進性の高い技術やビジネスアイデアの事業化を支援しイノベーションを推進する異業種連携の事業コンソーシアム「Incubation & Innovation Initiative (III)」を組成し、代表・全体統括を務める。政府や国立研究開発法人および大学のイノベーション/スタートアップ政策立案の支援からディープテックスタートアップ支援まで一貫して実施。近年では、官民連携したスマートシティ政策やイノベーション・エコシステム拠点形成の推進に従事する。
- その他、外部活動として、J-startup推薦委員や内閣府、経済産業省、JST、AMED等の関連有識者委員会の委員を歴任、各地の首長のフェローも務める。

開拓コース応募者へのメッセージ

開拓コースは、技術の活用アイデアがあり起業にも興味がある、自らの技術をもって社会課題解決し、人々の暮らしをより豊かにしたい、というディープテック分野の若手人材発掘・育成するコースです。

日本は「技術はあるけど事業化できないよね」、「グローバルに通用するビジネスを創出できないよね」などと言われ続けてます。

IMDの世界競争力年鑑によると、2022年の日本の競争力総合順位は63カ国・地域中34位とアジア・太平洋地域においても後塵を押し続けています。

若手の皆さん、悔しくないですか？ 燻ぶっていませんか？ これからの未来を切り拓くのは皆さんです！ 自らの手で世界に見せつけてやりましょう！

このコースをきっかけに世界に羽ばたき、「市場」で活躍する装備を身につけましょう。

新たな一步を踏み出すには好奇心、持続性、柔軟性、楽観性、冒険心が重要です。計画的偶発性を楽しみましょう。

我々が思いもつかない気合の入ったアイデア大歓迎、情熱のある個性豊かな挑戦者を募集しております。

我々も皆さんと一緒にチームとして活動できることを楽しみにしております。

潮 尚之 (うしお なおゆき) ITPC 代表 プロフィール



- シリコンバレー及び東京/大阪を拠点として、北米の有望なベンチャー企業の発掘と日本進出のサポート、オープンイノベーションを推進する日本企業の海外動向調査やベンチャー企業との協業サポート、日本のベンチャー企業の事業開発及び米国進出サポートなど、International Business Developmentの専門家として活動中。専門分野はオートモーティブ、セキュリティ、画像処理、センサ/デバイス、AI、IoT、AgFoodTech、InsurTech及びモノづくりなど。
- また、Technology Commercializationの専門家として、大阪公立大学スタートアップ創出・支援センター(センター長)、山形大学(特任教授)、山梨大学(客員教授)、岩手大学(客員教授)、立命館大学(客員教授)、大阪大学(招へい教授)、鳥取大学(非常勤講師)などにおいて、さらに、NEDO-NEP支援スーパーバイザー、NEDO-DTSU技術委員及びJST-START評価委員などとして、大学発の技術シーズの事業化や大学発ベンチャーの起業を推進するとともに、未来X及びT-CEPなどの産官学連携プロジェクトのメンター/アドバイザー、リニアやまなしビジョン最先端企業等誘致アドバイザーなどを担当し、産官学連携の推進や地方の中小企業の新規事業開発や米国進出なども支援。
- 2006年に独立するまでは、松下電器産業(現パナソニック)において、ITS(高度道路交通システム)をはじめとした様々なビジネス・技術分野でのグローバルな事業開発やアライアンスを推進。米国(シリコンバレー及びプリンストン)駐在時には、ベンチャー企業や大学との技術連携推進の責任者を担当。慶応義塾大学文学部人間科学専攻卒。

開拓コース応募者へのメッセージ

皆さんが研究開発に取り組んでいらっしゃる技術シーズが、具体的にどのような社会課題の解決につながるのかを常に念頭に置きながら、アイデアや用途の開発及びそのPoC、さらにはビジネスモデルの検討などを進めて頂き、ソリューション実現のための社会実装を加速する機会として、本事業を大いに活用して下さい。

最終的にご自身が経営者になるかどうかは別として、起業を前提としたビジネスモデルや資金計画などの検討を通じ、ディープテック系のイノベーターに求められるアントレプレナーシップを醸成するとともに、切磋琢磨する仲間とのコミュニティを拡大しましょう!

「尖った」皆様のチャレンジを是非ご支援させて頂きたく、ご応募をお待ちしております。

尾崎 典明(おざきのりあき) S factory 代表



プロフィール

- 2004年九州工業大学大学院・工学研究科物質工学専攻修了
- 同年コンサルティング会社へ入社、中小から大企業に対する新規事業・新商品開発支援および知財戦略立案等の業務に携わる。
- 2009年エスファクトリーを創業、企業に加え、地方自治体、NPO、スタートアップに対しアドバイスを行う傍ら、経済産業省や中小企業基盤整備機構等のコーディネータ、アドバイザー等を歴任。
- また、一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズでは特に研究開発型スタートアップに対し実践的なメンタリング等を行う。
- およそ20年に渡り、ものづくりやサービス、業種業態問わずまたその事業ステージによらず、それぞれの企業が有する課題に応じた支援を実践してきたことから、日本全国に企業や官公庁、地方自治体、大学等、幅広いネットワークをもつ。
- 現在、一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ副代表理事、筑波大学国際産学連携本部客員教授も務める。

開拓コース応募者へのメッセージ

いわゆるディープテック領域の事業は他の領域以上に、上市するまでに長い年月とお金を要します。

幾度とない困難があなたを待ち受け、それに打ちひしがれることもあるでしょう。

それでも歯を食いしばって、前を向いて再び立ち上がる、「ただじゃ起きない」そんなあなたの覚悟がいつでも試されます。

もっとも先人たちがそんな困難に果敢に挑み続けたからこそ、この世界はかたち作られています。挑む価値がある。

技術やアイデアはまだまだ粗削りであっても構いません、あなたの意志と情熱とスピードが武器です。

小さくまとまったものは望みません、世界をもっともっと面白くする、そんな事業に挑むその勇気に伴走していきたいと思えます。

あなたのチャレンジを待っています。

片田江 舞子 (かただえ まいこ) Red Capital株式会社 代表取締役マネージングパートナー

プロフィール

- 大学院で生物化学の研究に取り組んだ後、基礎研究から生まれる技術シーズの社会実装を橋渡ししたいという思いでキャピタリストに転身。
- ディープテック特化型ベンチャーキャピタルUTECにて18年間、一貫して大学発スタートアップへの投資に携わる。バイオテック・ヘルスケアを中心に、技術デューデリジェンス、投資、事業支援を担う。特殊ペプチド創薬で世界的評価を得るペプチドリーム of 技術シーズの本質的価値と将来性を見抜き、創業からIPOに至るまで成長を後押しした。
- 2024年、ヘルスケア特化型VCのRed Capital(株)を共同創業。サイエンスの力で未来を切り開くヘルスケアファンドを設立。
- 東京大学大学院 博士(理学)



開拓コース応募者へのメッセージ

科学技術の進歩とともに、人類は幾度となく限界を超え、成長を遂げてきました。

不可能と思われたことを可能にしてきた原動力は、革新的なテクノロジー、志を同じくするチーム、そして時代を捉える確かなタイミングです。

テクノロジーの力は、世界をより豊かにし、人類が持続的に発展していく未来を切り拓きます。その未来は、世界中の起業家による挑戦から生まれます。

NEPは、ディープテックに挑む起業家が、挑戦する勇気を確認へと変え、志ある仲間と出会い、次の一歩を踏み出すための場です。

まだ見ぬ可能性に挑み、世界を変える第一歩を、ここから始めてください。

あなたの挑戦をお待ちしています。